

# 鍼灸で「健やかに！」

10

登美ヶ丘治療院院長

野口 創



## 排尿困難と鍼灸治療

一日の尿量は成人男性でおよそ一、五〇〇ㄩㄥㄣ、女性で一、二〇〇ㄩㄥㄣ、膀胱(ぼうこう)には約三〇〇ㄩㄥㄣの尿をためることができ、一日の尿の回数は普通五、六回。尿は膀胱の筋肉が収縮する

と同時に、尿道の拡張が行われて排出される。高齢になるとこの協調機能が低下し、「尿が出にくい」という不快症状が起る。

尿意はあるのに、腹に力をいれても尿が出にくい場合(遷延性排尿)や、尿が出ても勢いがなく、排尿に時間がかかり、途中で尿が

しない尿が出にくくなる。これは神経因性膀胱という。交通事故や脳卒中後遺症、糖尿病、直腸がん、子宮がんの手術後などにかかる。また、何らかの薬物服用の副作用で尿が出にくくなることもある。薬物療法では、利尿剤、循環改善薬、抗前立腺肥大薬、降圧薬、 $\alpha$ -遮断薬、女性ホルモン剤、抗コリン薬などが使われるが改善されにくい場合も多い。

中国医学では、排尿障害を淋(りん)証と呼び、排尿困難や、尿が少ないなどの症状の違いによって、一般的には熱淋(排尿痛、灼熱感)・石淋(尿に砂が混じる)

# けいれんや痛み緩和



止まりがち—な  
どの症状を通して  
障害による排尿  
困難という。

後者の代表的  
なものが高齢の  
男性に特有な前  
立腺肥大症。他

にも前立腺結  
石、前立腺がん、  
尿道狭窄(きよ  
うくわん)、膀胱  
頸(けい)部硬  
化症などがある。

次に、膀胱を  
支配する神経に  
障害がある場合  
は、膀胱を圧迫

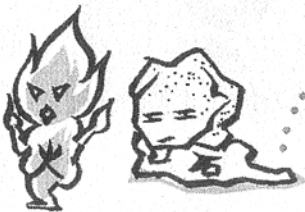
・血淋(排尿に力がない)・血淋(血尿)・膏淋(混濁した不透明の尿の五種に分け治療を進める。それぞれの原因・体質に合わせて、全身の経穴(ツボ)から選穴し、鍼灸治療を行うことで効果を最大限に引き出す。

鍼(はり)治療には、輸尿管のけいれんを緩和させる即効性があり、さらに排尿痛などの痛みを止め、輸尿管の蠕(ぜん)動運動を増大させる働きがある。必要に応じて鍼治療の刺激強度を増加することによって、尿の流れる量も増加し、お尻・下腹部の血流を改善することによって膀胱周囲の筋肉の増強、麻痺(まひ)した膀胱の神経を回復させ、つらい症状が改善される。

鍼灸治療は、

(原因) + (体質)

合わせた治療



■